

設計課題の特色に応じた計画(設計主条件)

左側：問題条件

右側：問題条件以外の採点のポイント

設計条件	指摘内容
<p><b>1、設計条件</b></p> <p>ある地方都市の市街地において、歯科診療所併用住宅を計画する。                  なお、計画に当たっては、次の①～④に特に留意すること。</p> <p>①診療所部分と住宅部分とは、出入口を明確に分離し、屋内の1階部分で行き来ができるようにする。</p> <p>②診察室から眺めることができる位置に庭園を設ける。</p> <p>③居間・食事室・台所から直接出入りできる位置に、バルコニー(面積は12㎡以上)を設け、休日には家族で食事などを楽しめるようにする。</p> <p>④建築物の耐震性を確保する。</p>	<p>①診療所は南側道路、住宅は東側道路からアプローチ</p> <p>①行き来する部分は、住宅側で靴の脱ぎ履きをする。 (段差の表現が必要)</p> <p>①屋外部分では行き来ができないように、フェンスなどを設ける。</p> <p>②一部、庭園が見えない診察ブースがある。</p> <p>③バルコニーの形状(不整形・幅が狭い)</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療所のアプローチは道路からまっすぐに。</li> <li>・3階建ての場合は、敷地内通路(1.5m)を設ける。</li> </ul>

敷地条件

<p>敷地：南側・東側道路                  南北 20m                  東西 18m                  建ぺい率 70%                  容積率 200%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 道路の位置、敷地の形状、大きさが違う。</li> <li>➢ 斜線部分に駐車のアプローチを設けている。</li> </ul> <p>※参考 本試験の解答用紙は、敷地図が印刷されています。                  敷地図はなぞって下さい。(図面タイトルや方位はなぞる必要はありません)</p>
---	---

構造、階数、高さ等 ※ア.とイ.は重大な不適合に該当

<p>ア. 鉄筋コンクリート造2階建とする。</p> <p>イ. 建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。</p> <p>ウ. 建築物の外壁面及び柱面は隣地境界線から500mm以上離す。</p> <p>エ. 塔屋(ペントハウス)は設けない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ラーメン構造として成立していない。</li> <li>➢ 柱の位置がずれている。階段に大梁が通っている。</li> <li>➢ 柱スパンが不適切(大きい・小さい・スパンの差が極端)。</li> <li>➢ RC壁で計画されていない(外壁、階段部分、住宅と診療所の境界)</li> <li>➢ 間仕切り壁において、帳壁が使用されていない。又は極端に少ない。</li> <li>➢ 住宅部分に階段が設けられていない。</li> <li>➢ 基準法(道路・隣地斜線/建蔽率/竪穴区画/非常用進入口(3階))</li> <li>➢ その他</li> </ul>
--	---

延べ面積等 ※ア. は重大な不適合に該当

<p>ア. 延べ面積は、「240㎡以上、280㎡以下」とする。</p> <p>イ. ピロティ、玄関ポーチ、バルコニー、駐車スペース、駐輪スペース等は、床面積に算入しないものとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 延べ面積にゆとりがあるので、もう少し広く考えてみる。(アドバイス)</li> </ul>
<p>・建築面積</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 算入部分が違う。 出が1mを超える庇・バルコニー、玄関ポーチ</li> </ul>

一般計画(敷地の有効利用・配置計画) ※問題条件にはない採点のポイント

<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内に大きな空地がないか</li> <li>・建物と境界線の適切な距離</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 敷地を有効に利用していない。</li> <li>➢ 不適切な建物配置(境界線との適切な空き寸法・越境)</li> <li>➢ 基礎が境界に接している。</li> </ul>
---	---

※ チェック(○かアンダーライン)が入っているところは、減点もしくは減点の可能性のあるところです。

一般計画(動線計画・各室の計画など)

(5) 要求室		
下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。		
部分	設置階及び室名	特記事項
診療所部分	1階	診察室 ア. 歯科治療台(4台)を設ける。 イ. 各診察ブースは、視線に配慮し、パーティションなどで区切るようにする。 ウ. 履物は、各診察ブースでスリッパに履き替える。 エ. 消毒コーナーを設ける。
		X線室 ア. 診察室に隣接して設ける。 イ. 広さは、壁心で2,000mm×2,500mm以上とする。
		受付 ・受付カウンター及びカルテ棚を設ける。
		待合室 ア. 待合コーナーとしてもよい。 イ. 待合用のいす(6席以上)を設ける。 ウ. 子どもが絵本などを読んだり、おもちゃで遊ぶためのキッズコーナーを設ける。 エ. 便所(1)及び洗面コーナーへの動線に配慮する。
		便所(1) ・患者用とする。
		洗面コーナー ・便所(1)の近くに設ける。
		スタッフ室 ア. スタッフの休憩や事務作業などに使用する。 イ. 面積は、7㎡以上とする。 ウ. ロッカー及びテーブル(4席)を設ける。
		院長室 ア. 面積は、5㎡以上とする。 イ. スタッフ室からの出入りとしてもよい。 ウ. 机及びいすを設ける。
		技工室 ア. 面積は、5㎡以上とする。 イ. コーナーとしてもよい。
		便所(2) ・スタッフ用とする。
住宅部分	1階	玄関ホール ア. 下足入れを設ける。 イ. 防火戸を通じて、診療所部分と行き来ができるようにする。
		居間 ア. 洋室とし、1室にまとめる。 イ. キッチン、対面キッチンとする。 ウ. テーブル(4席)を設ける。 エ. バルコニーに直接行き来できるようにする。 オ. 日照に配慮する。
	2階	食事室 ・洋室とし、収納(2㎡以上)を設ける。
		食品庫
		夫婦室 ・洋室とし、収納を設ける。
		子ども室 ・洋室とし、収納を設ける。
		予備室 ・洋室とし、収納を設ける。
		納戸
		便所
		洗面脱衣室
浴室		
(注1)各要求室においては、床面積・広さの指定がない場合、床面積は適宜とする。 (注2)2階にバルコニー(インナーバルコニー又はルーフバルコニーとしてもよい)を設ける。 (注3)診療所部分においては、診察室(各診察ブース)で履物を履き替えるものとする。		

▶ 不適切なアプローチ計画  
通路がない 狭い 遠い 複雑  
動線交差  
駐車・駐輪スペースまでの動線など

▶ 不適切な部屋の配置  
玄関位置  
居室の日照(子ども室・夫婦室)  
採光の為に窓がない、面積不足

▶ 診察ブースの幅は、最低 2,000 mm

▶ 部屋形状が不適切(使い勝手が悪い)  
(不整形、細長い(1:2以上))

▶ 動線計画  
通過動線 \_\_\_\_\_ 室  
(食品庫は台所から出入り)  
診察室⇄スタッフゾーンが待合室経由になっている。

▶ 廊下形状が好ましくない(広い・狭い)  
1mの廊下は柱に注意

▶ 段差処理ができていない

一般計画(エレベーター・スロープ・屋外施設)

(6) 屋外施設		
名称	特記事項	
駐車スペース	・診療所用として2台分、住宅用として1台分を設ける。	
駐輪スペース	・診療所用として5台分以上、住宅用として3台分を設ける。	
庭園	・診察室から眺めることができる位置(面積は適宜とする)に設ける。	
スロープ	ア. 建築物内又は敷地内の通路の計画(診療所部分に限る)において、高低差が生じる場合は、スロープを設ける。 イ. 勾配は1/15以下とし、上端と下端には、奥行き1,500mm以上の平場を設ける。なお、上端の平場は玄関ポーチと兼用してもよい。	

▶ 不適切な駐車スペースの計画  
大きさ 配置 出し入れスペース 動線など

▶ 不適切な駐輪スペースの計画  
大きさ 配置 出し入れスペース 動線など

▶ 不適切な庭園の計画

▶ 不適切な屋外スロープの計画  
踊場がない 手摺がない  
動線(狭い、通路がない)

要求図書の表現

2. 要求図書

- a. 下表より、答案用紙の定められた枠内に記入する(寸法線は、枠外にはみだして記入してもよい)。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mm(部分詳細図(断面)にあっては、10mm)である。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてもよいものとする。

要求図書 ( )内は縮尺	特記事項
(1)1 階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 1 階平面図兼配置図及び2 階平面図には、次のものを記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の主要な寸法</li> <li>・室名等</li> <li>・延焼のおそれのある部分の範囲(延焼ラインを一点鎖線にて明記し、そこから敷地境界線までの距離を記入)</li> <li>・防火設備が必要な部分に(防)と明記</li> <li>・断面図の切断位置及び方向</li> </ul>
(2)2 階平面図 (1/100)	イ. 1 階平面図兼配置図には、次のものを記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地境界線と建築物との距離</li> <li>・道路から建築物へのアプローチ、駐車スペース、駐輪スペース、庭園、門(住宅部分)、塀、植栽等</li> <li>・道路から敷地への出入口には△印、建築物への出入口には▲印を付ける。</li> <li>・屋外スロープ(高低差が生じる場合)</li> <li>・診察室…歯科治療台(2,000 mm×1,600 mm)を破線にて記入する</li> <li>・診察室の消毒コーナー…流し台、作業台</li> <li>・待合室…いす、キッズコーナーに絵本棚</li> <li>・便所(1)及び便所(2)…洋式便器</li> <li>・洗面コーナー…洗面台</li> <li>・スタッフ室…ロッカー、テーブル(4 席)</li> <li>・院長室…机、いす</li> <li>・技工コーナー…机、いす</li> </ul> ウ. 2 階平面図には、次のものを記入する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 階の屋根伏図(1 階の屋根がある場合)</li> <li>・居間・食事室・台所…台所設備機器(流し台、調理台、コンロ台、冷蔵庫等)、食器棚</li> <li>・食品庫…棚</li> <li>・夫婦室…ベッド(計2 台)、机、いす</li> <li>・子ども室…ベッド、机、いす</li> <li>・納戸…棚</li> <li>・便所…洋式便器</li> <li>・洗面脱衣室…洗面台、洗濯機</li> <li>・浴室…浴槽</li> <li>・部分詳細図(断面)の切断位置及び方向</li> </ul>

※参考 蹴上寸法の計算 蹴上=階高÷段数  
 (原則 180 mm~200 mm程度)  
 (基準法より、住宅は 230 mm以下、診療所は 220 mm以下)

- 主要な寸法は原則 4 方に記入  
建物全体寸法 寸法違い  
記入漏れ 記入位置など
- 室名間違い  
(室名は問題文の通りとします)
- 延焼のおそれのある部分が違う
- 切断位置の不適切な記入。  
位置 矢印の向きなど  
(南北に切断する場合は、左に矢印を向ける)  
(曲げるのは可、ただし同じ部屋の中で)  
(各平面において概ね位置を合わせる)
- 境界と建築物との距離(東・西・南・北)
- アプローチの記入は、人が通る所全てに
- 出入口には、原則ポーチを設ける。
- 駐車スペースの名称
- 駐輪スペースの名称
- 住宅の駐車スペースにはカーゲートを設ける。
- 屋根伏図の形状
- 庇の抜け
- 階段の計画・表現  
欠落 手摺 蹴上寸法 踏面・幅 段数  
矢印 省略記号  
梁に当たる 天井高さが確保できない  
その他不適切な計画又は表現
- 包絡処理  
RC 壁同士 - 包絡  
帳壁同士 - 包絡  
RC 壁と帳壁 - 包絡しない  
断面と見え掛かり - 包絡しない
- 家具などの形状や大きさが不適切
- その他不適切な表現など

**要求図書の表現 構造に対する理解・断面構成に関する知識**

要求図書 ( )内は縮尺	特記事項
(3)立面図 (1/100)	ア. 南側立面図とする。 イ. スロープについては外観で見える場合に記入する。
(4)断面図 (1/100)	ア. 切断位置は、東西方向とし、1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ. 建築物の外形、床面及び天井面の形状がわかる程度のもとし、構造部材(梁、スラブ、地中梁等)を記入する。 ウ. 建築物の最高の高さ、軒高、階高、天井高、1階床高、開口部の内法寸法及び主要な室名を記入する。 エ. 見え掛かりの開口部、階段等(室の対向面に見えるもの)は記入しなくてよい。

**立面図**

- ▶ 平面図との不整合  
建物形状(柱・梁・窓・その他 )  
スロープの手すり高さは750~800  
その他不適切な表現
- ▶ 断面図との不整合  
最高高さ 窓の高さ 梁形状

**断面図**

- ▶ 平面図との不整合(見え掛かりも含む)  
建物形状(壁・開口部・扉位置)室名
- ▶ 不適切な構造部材(位置・サイズ)  
壁、大梁、地中梁、小梁、スラブ、べた基礎
- ▶ 寸法が不適切  
最高高さ 軒高 階高 天井高  
開口部の内法 1階床高  
その他不適切な表現

**断面図**  
コンクリート躯体部分(梁、スラブ、壁)は包絡処理をすること  
帳壁は、コンクリート躯体とは縁を切ること

**要求図書の表現**

要求図書 ( )内は縮尺	特記事項
(5)部分詳細図 (1/20)	ア. 切断位置は、外壁を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は、2階屋根部分(屋上のパラペット天端から2階の天井仕上面より下方200mm以上)とし、外壁の壁心から1,000mm以上とする。 ウ. 主要部の寸法等を記入する。 エ. 主要部材(大梁、屋根スラブなど必要なもの)の名称・断面寸法・厚さを記入する。 オ. 外気に接する部分(屋根、外壁、その他必要と思われる部分)の断熱・防水措置を記入する。 カ. 主要な部位(屋根、外壁、内壁、天井)の仕上材料名を記入する。
(6)面積表	ア. 建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ. 建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ. 面積の数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。
(7)計画の要点	・ 建築物及び敷地の計画に関する次の①~②について、具体的に記述する。 ① 診療所部分の計画について、工夫した点 ② 住宅部分の計画について、工夫した点

**部分詳細図**

- ▶ 不適切な表現、不適切なサイズ

**面積表**

- ▶ 計算間違い 数字間違い 計算方法

**計画の要点**

- ▶ 記述内容が問題の要求と違う
- ▶ 内容が設計条件と同じ
- ▶ 文章表現・誤字脱字など

**図面表現**

線の強弱 全体的な印象など	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 全体的に線が薄い。かすれている。</li> <li>▶ 線の強弱がない(断面は強く、見え掛かりは中線)</li> <li>▶ 作図不足・不適切な表現・家具などのサイズ</li> <li>▶ 誤字・脱字 文字の丁寧さ</li> </ul>
------------------	---

よくミスする部分、忘れそうなものは、チェックリスト(始めにお渡しした用紙)に記入して下さい。

本試験の前に確認します。そして、開始後に問題用紙に記入してください。

チェックがきちんとできれば合格できます。

(※本試験中はチェックリストを見ることはできませんので注意して下さい)